

# サントリー 健康白書 2022

Suntory Group Health and Wellbeing Report 2022

SUNTORY

サントリー健康白書 2022

発行 サントリーホールディングス株式会社 サントリー食品インターナショナル株式会社



新浪 剛史

サントリーホールディングス株式会社  
代表取締役社長



## “心身の健康こそがチャレンジの原動力”

サントリーグループは、「人間の生命の輝きをめざし」、商品を通じて、人間らしい豊かな暮らしと人々の健康に貢献することを目指してきました。そして未来に向けても、新たな発想と大胆な挑戦によって、より皆様の期待にお応えする商品・サービスをお届けしていかなくてはならないと考えています。

我々サントリアンが「やってみなはれ」精神を発揮し、新たなイノベーションを生み出すためには、我々自身とご家族の心身の健康が必要不可欠です。サントリーでは2016年に「健康経営宣言」を掲げ、さまざまな取組みを実践してきました。

これからもグループ全体で健康経営を積極的に推進し、従業員一人ひとりがイキイキと輝く、「Growing for Good」な企業として、挑戦し続けてまいります。



肥塚 真一郎

サントリーホールディングス株式会社  
取締役副社長  
GCHO(健康管理最高責任者)  
サントリー健康保険組合 理事長



## “サントリアンの健康は、「やってみなはれ」の源”

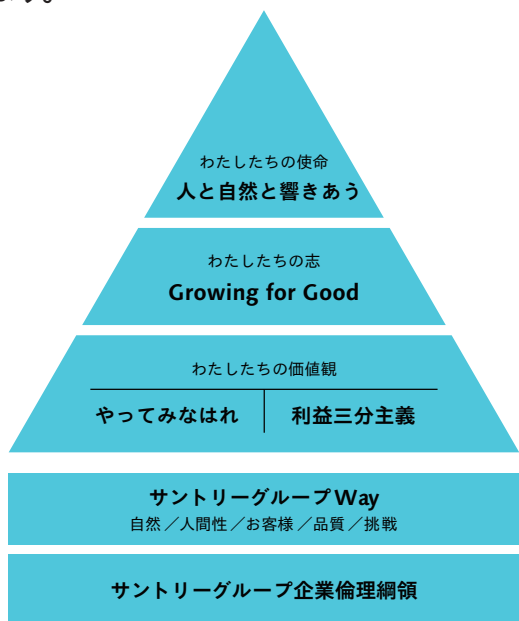
我々が健康経営で目指しているのは、従業員はもちろんご家族も含めた全員の「人間の生命の輝き」です。従業員とご家族が、健康でイキイキと毎日を送ることができ、やりがいをもって働ける、充実した生活であってほしいという願いが根幹にあります。この考え方に基づき健康経営を推進することが、グループのさらなる挑戦・未来につながると確信しています。

サントリーでは、健康診断の充実、さまざまな疾病につながる生活習慣病の予防を重点領域の一つとして幅広く取組み、各種施策を展開しています。また今後も、気軽に産業医や看護職に相談できる体制をさらに拡充して、日常的なサポートの充実にも取り組みます。

一人ひとりの「健康自律」を基本としつつ、本人・会社・健保が三位一体となって健康維持・増進に取組み、心身の健康を土台に全員が仕事もプライベートも充実させていく姿を目指してまいります。

## サントリーグループの理念体系

サントリーグループは、世界中のお客様に新たな価値を提供しつつ、持続可能な社会の実現に貢献していくための考動指針として、以下のような理念体系を定めています。



### わたしたちの使命 「人と自然と響きあう」

サントリーグループがめざしているのは、あらゆる人々が生きる喜びや充実を感じながら、それぞれの能力を発揮し、人間としての生命を最大限に輝かせること。そのためにわたしたちは、商品やサービスを通じてお客様に新たな価値を提供し、生活文化を潤い豊かなものにしていきます。商品の源泉となる自然の恵みに感謝するのはもちろん、人間の営みの基盤となる自然を畏敬し、生態系が健全に循環するように力を尽くします。そして、生活文化を潤い豊かにすることと自然環境の持続可能性を守ることが共存し、永続していく社会づくりに貢献すること。それがサントリーグループの使命です。

### わたしたちの志 「Growing for Good」

わたしたちは、この社会のために“Growing”＝成長しつづけます。成長しつづけることで、よりよい社会づくりに貢献する力も、自然環境を守る力も大きくしていきます。そのためには革新的な取り組みに情熱を注ぎ、新たなチャレンジをつづけなければなりません。挑戦の先にあるのは、いまよりもっと誠実で、信頼される企業。そんな“Good”な企業に向かって成長しつづけること。これがサントリーグループの志です。社員一人ひとりもまた、仕事への情熱と挑戦意欲を忘れず、“Good”＝誠実で信頼される人間として、成長しつづけるべきではありません。

## サントリーの目指す健康経営

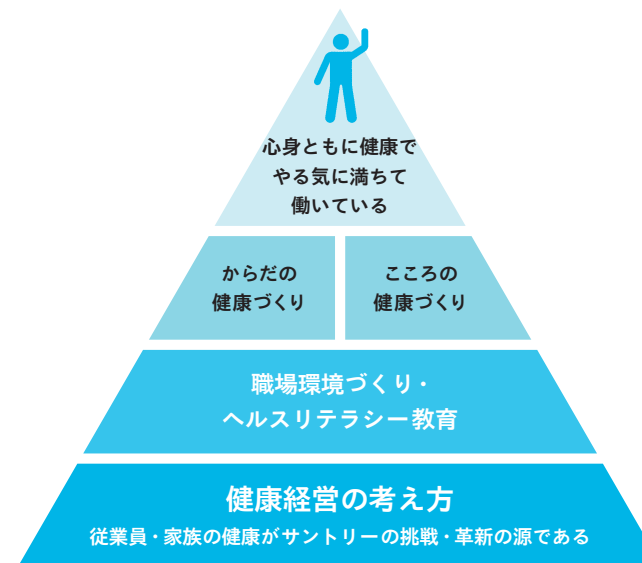
2014年に「健康づくり宣言」、2016年に経営層がGCHO (Global Chief Health Officer: 健康管理最高責任者)に就任し新たに「健康経営宣言」を行いました。

### 健康経営宣言 (2016年制定)

従業員・家族の健康がサントリーの挑戦・革新の源であるという考えのもと、全従業員が心身ともに健康でやる気に満ちて働いている状態を目指します。

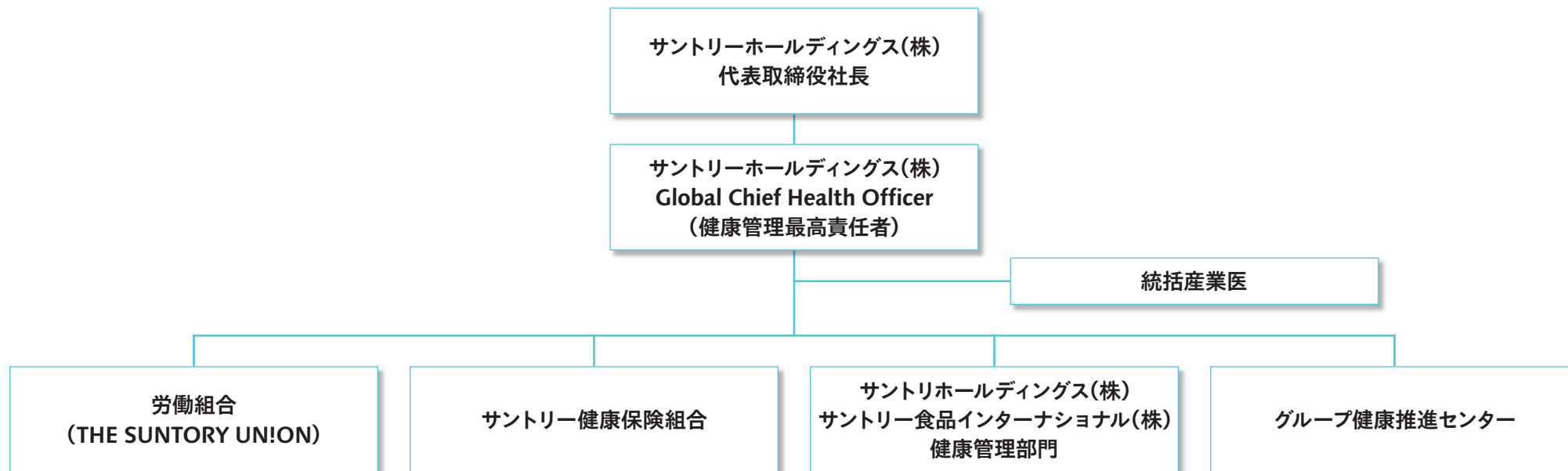
### 基本方針

- 職場の環境整備や働き方改革を通して、従業員の健康基盤づくりを推進します。
- 従業員への健康情報の提供や個別支援を通して、ヘルスリテラシー教育に取り組みます。
- 生活習慣の改善とともに予防、早期発見、両立支援など身体の健康づくりを推進します。
- 一人ひとりがメンタルヘルスを理解し、適切に心のケアができるよう支援します。
- 取り組みを通して従業員と家族の“人間の生命の輝き”の実現を目指します。





## 健康推進体制



### 実施している主な健康会議

名称	おもな出席者		開催頻度	内容
経営層との協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役副社長 (GCHO)</li> <li>人事部門担当役員</li> <li>統括産業医</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護職</li> <li>健康管理部門担当者</li> </ul>	年2回	会社の方針、健康状況の確認および今後の健康施策等に関する協議
健康管理推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康保険組合</li> <li>統括産業医</li> <li>看護職</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働組合</li> <li>健康管理部門担当者</li> </ul>	年3回	サントリー健康保険組合の保健事業・活動について、年間を通じての活動評価・意見交換を行う
グループ会社人事担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ会社人事担当者</li> <li>看護職</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康管理部門担当者</li> </ul>	年1回	各グループ会社従業員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議
全社安全衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>統括産業医</li> <li>労働組合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事部門労務担当者</li> <li>健康管理部門担当者</li> </ul>	年1回	労働組合本部と全社社員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議
全国衛生管理者・推進者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業場の衛生管理者、衛生推進者</li> <li>統括産業医</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護職</li> <li>健康管理部門担当者</li> </ul>	年1回	各事業場の社員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議

## 健康相談対応の体制

サントリーでは全従業員を漏れなくサポートするため、看護職が全事業所を分担して受け持つ担当制を導入しています。担当の看護職が社員からの相談窓口となり、産業医、メンタル専門医、臨床心理士などが連携して社員の相談に対応し、健康に就労できるような支援を行います。

また、社内の産業保健スタッフだけでなく、外部相談窓口として、プライベートな家族の問題も含めて相談ができるEパートナー相談窓口や、24時間365日医療相談ができるオンラインサービスFirst Callを設置しています。



<b>社内相談窓口</b>	看護職	健康面談など社員との日々の接点を通して社員の一番身近な存在としてサポートします。
	産業医	統括産業医を中心に、定期健診の事後措置や各種面談指導や治療と仕事の両立支援などを行います。
	メンタル専門医	職場のメンタルヘルスに精通した精神科医が産業医や看護職と連携し、従業員をサポートします。
	臨床心理士	心理学の知識に基づいたカウンセリングを行い、悩みを抱える社員をケアし、問題を解決できるよう支援します。
<b>社外相談窓口</b>	EAP	プライベートや家族の問題など様々な悩みについて社外のカウンセラーに相談できる外部サービス
	チャット型医療相談サービス	24時間365日チャットやテレビ電話で気軽に医師に健康相談ができるオンラインサービス

\*1 EAP (Employees Assistance Program) : 社外にいる事業者が提供する従業員支援プログラム。企業からの相談を受けて、ストレス診断・カウンセリング(電話相談・メール相談・対面)・医療勧奨・メンタルヘルスの教育研修・人事や管理者へのコンサルテーション・復職支援プログラムなどを行う。

※ 本誌の「サントリー」とは、サントリーホールディングス株式会社、サントリー食品インターナショナル株式会社、サントリーフーズ株式会社、サントリープロダクツ株式会社、サントリー株式会社、サントリーウエルネス株式会社、サントリービジネスシステム株式会社、サントリーシステムテクノロジー株式会社、サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社を指します。

## 健康経営の重点項目と目標値

サントリーでは以下の項目を目標に掲げ、こころとからだの健康支援に取り組んでいます。

	項目	2021年実績	2030年目標
健康診断の 確実な受診	健康診断受診率	99.4%	100%
	再検査・精密検査受診率	74.1%	100%
生活習慣	運動習慣 週2回以上の運動定着率 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">重点項目</span>	28.6%	80%
	食生活 朝食の摂取・早めの夕食実施率 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">重点項目</span>	50.2%	80%
	睡眠 睡眠で休養がとれる人の割合	81.2%	90%
	禁煙 非喫煙率	82.7%	95%
	DRINK SMART 週1回以上の休肝日実践率	64.7%	90%
メンタルヘルス	ストレスチェック受検率	94.8%	100%
	非高ストレス判定率	93.0%	95%
生産性向上	体調不良が理由で勤務できない日数 3か月の平均(アブセンティーイズム)	0.5日	0.2日
	病気やケガがない時を100%とした場合の仕事の生産性 4週間の平均(プレゼンティーイズム)	79%	90%
ハイリスク者低減	特定保健指導基準対象者率	21.4%	10%

## 従業員への働きかけ

公私ともに健康でやる気に満ちた「ウェルビーイング」な状態を目指すために、従業員が自ら取り組むべき項目を具体的に掲げ、健康意識を醸成するためのヘルスリテラシー教育を積極的に展開しています。

### 1. 定期健康診断・再検査の受診

### 2. 健康的な生活習慣の継続



規則正しい食生活



禁煙



プラス10分の活動



DRINK SMART



就寝前の  
リラックスタイム30分

### 3. 定期的なストレスチェック受検によるセルフケア

### 4. 生活習慣病等、病気予備群に対する改善プログラムへの参加

#### 健康自律の促進に向けた 経営層からの働きかけ ～人が大事 その基盤は「健康」～

サントリーでは、入社時、管理職向けの研修や、年齢別に行うキャリアワークショップなどの機会をとらえ、従業員の健康自律を促す「健康研修」を経営層が実施しています。

経営層自らの言葉で、健康経営の重要性を語り、社員の「健康自律」を促し、社員の病気の予防、早期発見につながるヘルスリテラシー向上に努めています。



## 運動習慣改善の取組み【目標：運動習慣のある従業員の割合80%】

### 運動習慣定着に向けた「Activeプラス10」

2022年、従業員が自ら日常生活における「プラス10分の身体活動の取組み」を宣言し、運動習慣の動機づけをサポートする活動を開始。

- 参加者数：1,105人

- 社員の宣言例：

「通勤にバス(5分)を使わずに徒歩(20分)にします」

「コンビニは1つ遠い店に行きます」

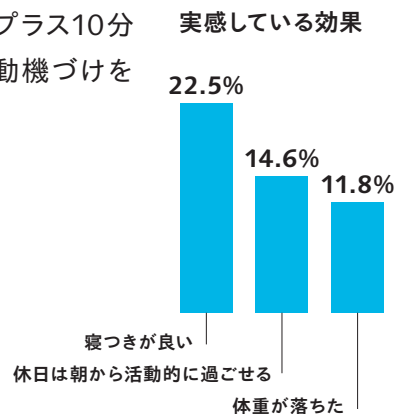
「デスクワーク時に足を浮かせて筋トレ!」

- 参加者の定性効果：

「寝つきが良くなった」(22.5%)

「休日は朝から活動的に過ごせるようになった」(14.6%)

「体重が減った」(11.8%)



### 体力測定会

自身の現状を正しく理解し、行動変容に繋げてもらうため、体力測定を開始。フレイル予防対策として、シニアの従業員にも積極的に参加を促しています。

また、従業員や家族が参加する全国のソフトバレーボール大会でも、体力測定会を実施し、幅広く「気づき」の提供をしています。



### グローバルウォーキングイベント「One Suntory Walk」

「One Suntory Walk」は全世界のグループ会社と一緒に毎年開催しているウォーキングイベントです。参加者が1か月間一体となって健康意識を高め、運動習慣を身につけることができるものです。

参加者数に応じてサステナビリティ活動に取り組む団体に寄付する仕組みです。

2021年実績

- 参加者数：34ヶ国 7,185人

- 寄付額：71,850 USD



### 従業員と家族向け「ソフトバレーボール大会」

国内のグループ会社従業員とその家族を対象としたソフトバレーボール大会を、全国8会場で開催。

合計1万人以上が参加し、普段顔を合わせる機会の少ない従業員同士が、スポーツを通して直接コミュニケーションをとりながら一体になれる貴重な機会となり、大いに盛り上がりました。

全サントリーアンよ!!  
OMOROI  
でつながろう!!





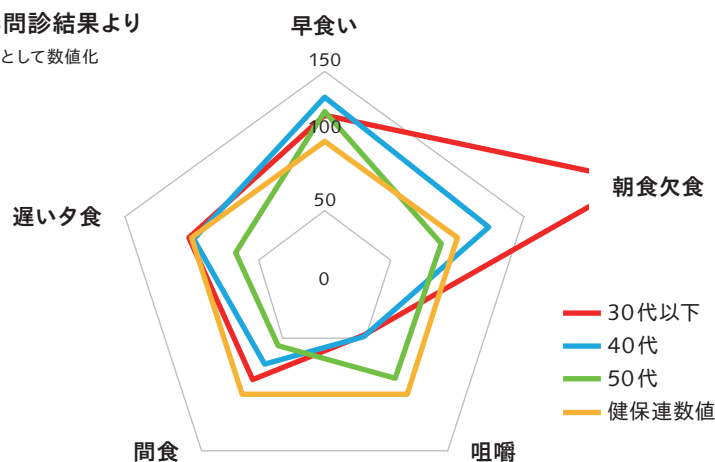
## 食生活改善の取組み [目標：規則正しい食習慣のある従業員の割合80%]

### 若年層の朝食欠食対策

30代以下の従業員の朝食欠食率が46.9%と高いという課題を受け、手軽に摂れる朝食としてフリーズドライスープを提供、併せて規則正しい食生活のメリットを情報提供。実施前後を比較して、体調の実感と朝食のメリットについての認知度が改善しました。

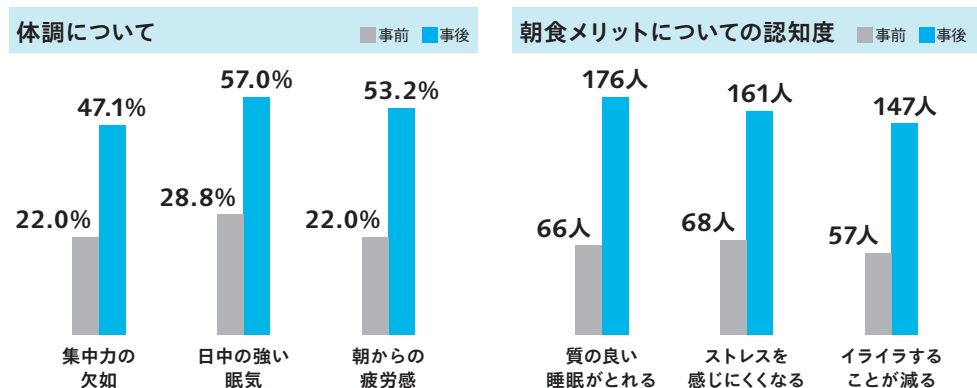
#### 食生活に関する問診結果より

※ 健保連数値を100として数値化



- プログラム参加者数：374人

#### プログラム参加後の変化



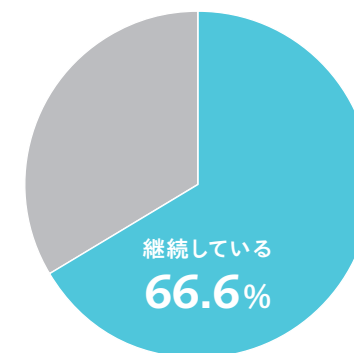
※「ほとんどない」と回答した人の割合

### 単身生活者向け食事支援

単身生活者を対象に2か月間、管理栄養士が設計し、栄養バランスのとれた食事が手軽に摂れる宅配型のお弁当を自宅に配布。普段の日常生活の中で実食し、ご自身の食生活の改善に役立てていただくプログラムを実施。プログラム実施後、参加者に体重や腹囲の減少といった数値変化が見られたほか、5か月後の追跡調査でも、その後の食事に対する意識や行動に変化が見られました。

#### 実績

- プログラム参加者数：473名
- プログラム実施5か月後の変化
  - 生活習慣改善を継続している：66.6%
  - 食生活の改善内容
    - 野菜を積極的に摂るようにしている：89.8%
    - 食材のバランス：86.4%
    - 食事の量：84.2%
  - 食生活以外の改善内容
    - ウォーキングなどの運動機会の増加：35.7%
    - 体重計測の頻度増：35.3%



#### 参加者コメント

「会食の回数が増えたものの、体重を測るようになり夜の間食はしなくなりました。改めて生活を見直し、運動も始めてみようと思います。」

## メンタルヘルスの取組み【目標：非高ストレス者の割合95%】

### セルフケア

厚労省のサイト「こころの耳」を活用しながら、社内の事例を使ったケースワークを通してメンタルヘルスを理解し、一人ひとりが適切に対応できるようeラーニングを実施しています。

また、日頃からの啓発としてメンタルヘルス専門医によるセミナーや社内カウンセラーによる動画配信などを行っています。ストレスチェックは年4回の実施を推奨し、定期的に自身の状態を確認することでセルフケアを促しています。



### 2021年全社セミナー

#### 「教えてDr. 肩こりがストレスサインってほんと？身体から見たメンタルヘルス」

#### セルフケア

#### eラーニング実績

- 実施者数：7,390名
- 実施率：86.3%

#### ストレスチェックにおける高ストレス者割合

2019年	9.3%
2020年	6.8%
<b>2021年</b>	<b>7.0%</b>

### ラインケア

ラインケアでは、管理職用ハンドブックを配布すると同時に、eラーニングを定期的実施しています。また、マネージャー向けの社内専用サイトを立ち上げ、普段から意識してもらえる体制を整えています。

#### ラインケア

#### eラーニング実績

- 実施者数：1,571名
- 実施率：89.3%



#### イントラ画面



### 健康面談と両立支援体制

心身の不調の早期発見およびリテラシー向上のため、全社員を対象に看護職の1対1面談を実施しています。

不調者に対しては、産業医、メンタルヘルス専門医、臨床心理士などの医療専門職と上司・人事担当者が連携し、しっかりと回復を促す両立支援の体制づくりをしています。

また、本人の職場復帰に際しては必要に応じて試し出社制度やリワーク、ジョブコーチを活用するほか、職場復帰後も適宜フォロー面談を実施するなど、安全な復職に向けたフォロー体制を徹底しています。

#### 健康面談実績

- 実施者数：1,968名(2021年)
- 施策満足度：93.9%
- 内容理解度：89.5%



## 生活習慣病対策の取組み(コラボヘルス)

### 健保と会社が協働する「特定保健指導」

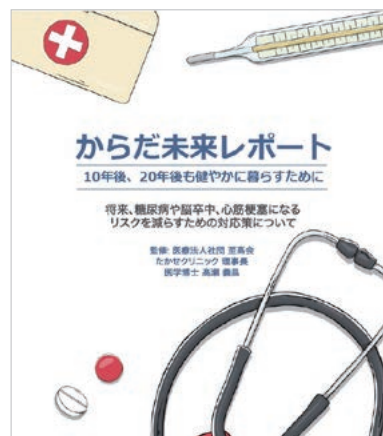
サントリーでは、2018年よりコラボヘルスの取組みとして、国から健保に実施が義務づけられている特定保健指導を健保と会社側が協働実施しています。

#### 取組みのポイント

- 指導のプレセミナーとして統括産業医によるオンラインセミナーを実施し対象者のマインドセットをしています。2021年は対象者に「からだ未来レポート」を配布し、一人ひとりの健診結果から、現在と将来の病気リスクを情報提供しました。



統括産業医プレセミナー  
「生活習慣病はなぜ放置してはいけないのか」



からだ未来レポート  
現在と将来の生活習慣病発症確率

#### 特定保健指導実績

- 2021年従業員実施率：92.6%
- 2021年従業員参加者数：760人
- 2021年参加者満足度：74.1%
- 従業員向け施策投資額：10,863千円
- 参加者の声：「同性同年齢と比べた健診値の順位など指導面談での説明でかなり危機感を感じ、行動への動機づけとなりました。」

### 重症化予防の取組み

サントリー健保では、血圧・脂質・血糖値等の複合的要因による心筋梗塞や脳梗塞等のリスクある人、糖尿病の進行により人工透析等のリスクのある人を対象に2014年から重症化予防指導を実施しています。

中でも血糖値改善に力点をおき、食事や運動後の血糖変動が体感できる研修施設での宿泊型プログラムも2015年から開始しました。2020年からは「FreeStyle リブレ」を使ったリモート型の指導に切り替え、対象者も軽度の早期腎症予防まで拡大しています。

「血糖測定器」や「FreeStyle リブレ」を無償貸与し、空腹時以外も含む血糖トレンドを主治医にも共有することで、服薬調整等にも活用できたという報告もあります。

#### 重症化予防取組み実績

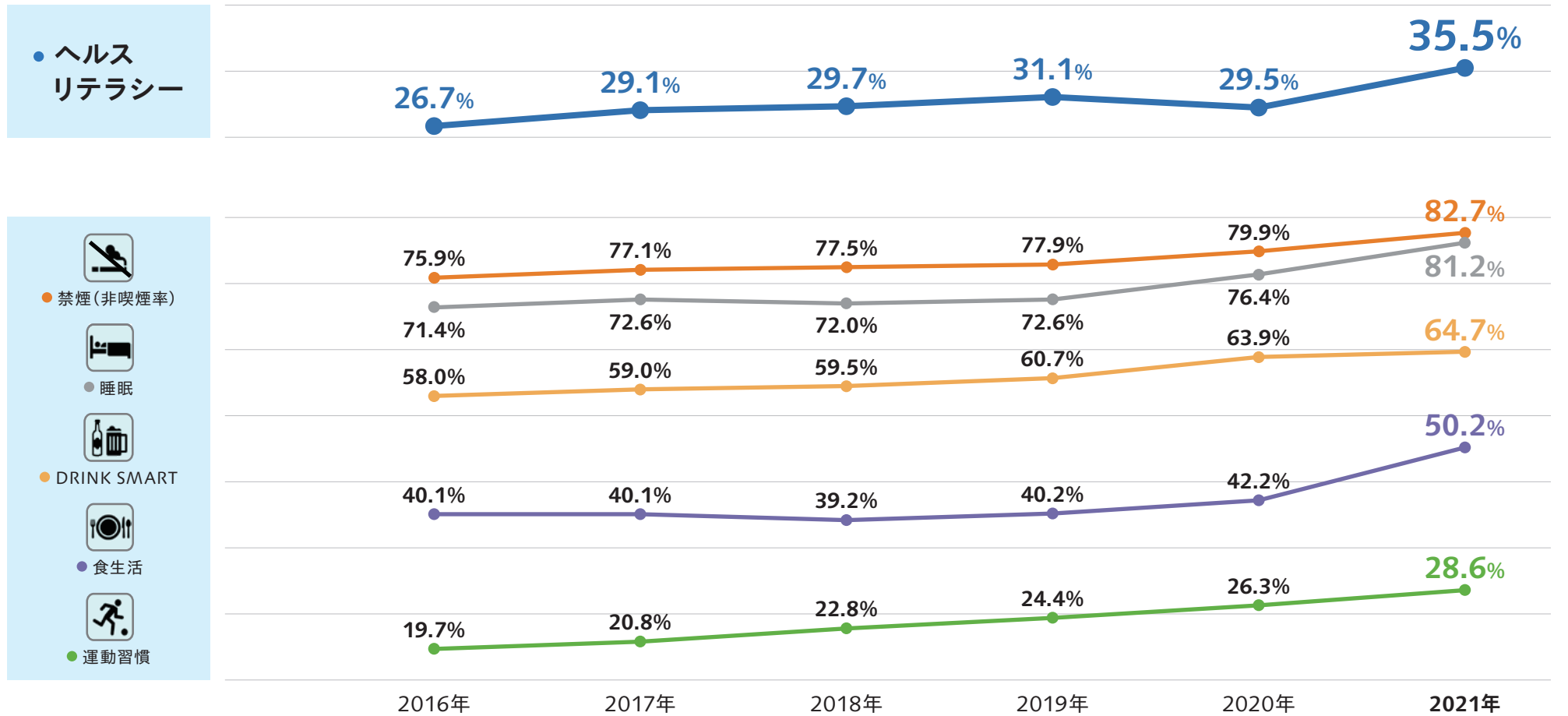
- ハイリスク者治療継続率  
2014-2020年プログラム対象者治療継続率：96.44%



FreeStyle リブレLink 

## ヘルスリテラシーの推移と主な施策

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
新たに開始した 主な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康経営宣言</li> <li>卒煙サポート</li> <li>ヘルスマイレージ</li> <li>ラジオ体操</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>One Sundry Walk</li> <li>睡眠セミナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンタルヘルス ラインケア研修</li> <li>適正飲酒支援強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就業時間内一部禁煙</li> <li>事業所健康目標設定</li> <li>若年層保健指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン フィットネス配信</li> <li>社内カウンセラー 動画配信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就業時間内禁煙</li> <li>バーチャルフィット ネス倶楽部</li> </ul>



※ 各項目は健康診断の問診結果から集計

ヘルスリテラシー: 「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか」の質問に「既に改善に取り組んでいる」と回答した人の割合

睡眠: 「睡眠で休養が十分とれている」と回答した人の割合 / DRINK SMART: お酒を飲む頻度が「毎日」と回答した人以外の割合

食生活: 朝食抜き週3回以上又は、就寝前2時間以内の食事が週3回以上に該当しない人と回答した人の割合 / 運動習慣: 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していると回答した人の割合



## 2021年度トピックス

## TOPIC 1 女性の健康支援の取組み

## 「働く女性の保健室」の新設

女性が健康でいきいきと働ける毎日を目指し、情報発信や相談対応を通して、女性の健康づくりを支援するための体制「働く女性の保健室」を2021年に立ち上げました。

女性ホルモンの働きによる体調の変化の中でも健康を保つためのワンポイント動画をメールマガジンとして配信しているほか、婦人科専門医による婦人科専門相談窓口を設置し、社員の健康相談に対応しています。



「働く女性の保健室」社内サイト

## TOPIC 2 がん対策推進企業表彰

## 「がん対策推進パートナー賞(検診部門)」を受賞

サントリーのがん対策の取組みが評価されました。

- 5大がん検診の定期健康診断への組み込み、検診の重要性を啓発する動画作成など、受診率の向上に向けた取組みの充実。
- 特に働く世代に発症の多い乳がんや子宮頸がんについての不安を気軽に相談できる婦人科専門相談窓口の設置など、女性に向けた体制づくりへの工夫や配慮。

職域でのがん対策をより一層推進するため、「企業コンソーシアム コンソ40」へも参加しています。



令和3年度 がん対策推進企業表彰式

## TOPIC 3 新型コロナウイルス(COVID-19)対応

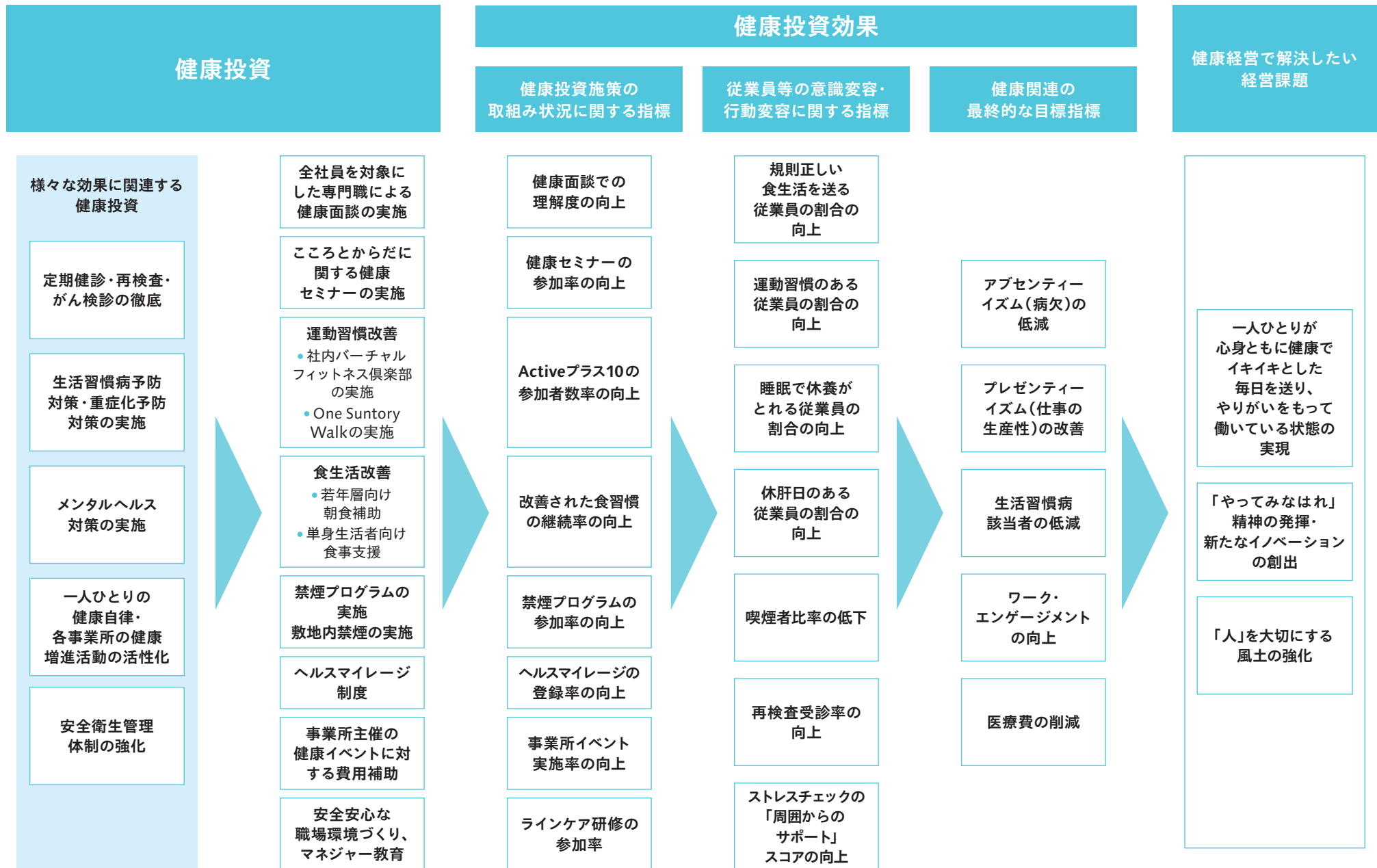
## 職域接種の実施

サントリーでは、共に働く仲間とそのご家族の生命を守り新型コロナウイルス感染症の収束に貢献できるよう、2021年6月より、全国9か所でサントリーグループ会社従業員とその家族、派遣社員、パート・アルバイト、協力会社社員を対象に職域での新型コロナウイルスワクチン接種を実施。2021年9月までに約25,000人が2回の職域接種を、2022年4月までに約15,000人が3回目の職域接種を受けています。



社内接種会場の様子

## サントリーの健康経営で解決したい経営課題



## データ分析の裏付けによる健康経営

サントリーでは、従業員の健診結果やストレスチェック・属性・勤怠等のデータを活用したクロス分析に力を入れています。特性に応じた課題を把握し、より一層効果的な健康施策運営を進めていきます。



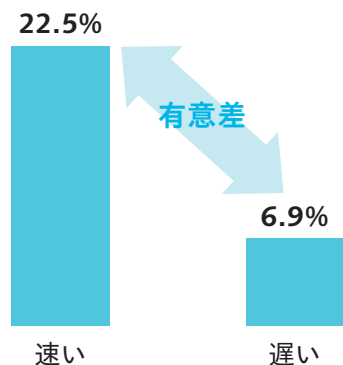
### データ分析

#### 「早食い」の人は、 特定保健指導基準該当者が多い

2021年の健診結果をクロス分析したところ、“人と比較して食べる速度が速い”と回答した群は、“遅い”と回答した群と比較して、特定保健指導基準・予備群該当者が有意に多い※という結果が出ました。

※ P値<0.05

#### 特定保健指導基準該当者率の比較



人と比較した食べる速さ



### 要因分析

#### 食生活を中心とした 生活リズム全体の乱れ

ワークライフバランスの偏りから、  
遅い夕食、寝る直前の食事、  
朝食欠食など  
食生活全体の乱れ

#### 健康リテラシーの不足

「早食い」が及ぼす身体への  
影響に関する知識の不足



### アクション

#### 「早食い」の解消 による生活習慣病予防へ

食事をテーマとした  
全社セミナーの開催

生活習慣改善に関する  
知識向上を目的とした  
eラーニングの実施

ICTを活用した  
コミュニケーション強化  
による生活改善支援

## 社会の「健康」への貢献

### DRINK SMARTの取り組み

～お酒に関する正しい知識を啓発 取引先企業の健康を支援～

#### ドリンク・スマート・セミナー 内容

～お酒との正しい付き合い方を考えよう～

- お酒に関する事実を知ろう  
- お酒のメリット・デメリット  
- 酔いのメカニズム
- 遺伝による体質の違い  
- お酒に強い人・弱い人
- 自分にあった飲み方をしよう  
- おすすめのお酒の飲み方
- お酒をやめられないと感じたら



取引先企業の新入社員研修にて  
DRINK SMART セミナーを実施

サントリーでは、お酒の正しい知識を持ち、お酒と楽しく上手に付き合っ  
てより豊かな生活を送ることを「DRINK SMART」と呼んでいます。従業員  
が DRINK SMART を実践することはもちろん、酒類を製造・販売する企  
業の責任として、社会への働きかけの活動も積極的に展開しています。

#### ～取引先企業への DRINK SMART セミナー～

酒類を製造・販売する企業の責任の一環として、取引先企業を中心  
に社外向けの DRINK SMART セミナーを実施し、酔いのメカニズムや  
節度ある適度な飲酒量、おすすめのお酒の飲み方などを紹介しています。  
従業員の誰もがセミナーを企画できる体制を整えており、2021年には  
のべ1,813人の方に受講いただきました。

DRINK SMART セミナーを通じて、取引先企業の健康経営のお手  
伝いをしています。

### 地域を支える「Be supporters!」

～地元のサッカーチームを応援して、カラダもココロも元気になろう～

**Be supporters!** いくつになってもワクワクしたい、  
すべての人へ



サントリーウエルネスでは、高齢者や認知症の方など、普段は周囲に「支  
えられる」機会の多い方が、サッカークラブの“サポーター”となることで、  
クラブや地域を「支える」存在となることを目指す活動「Be supporters!」  
を推進しています。

2020年12月にスタートしたこの活動は、現在カターレ富山・レノファ山  
口FC・川崎フロンターレ・ヴィッセル神戸のJリーグ4クラブと協働して推進  
しています。

手拍子やタオル回しをする、ユニフォームを着る、施設を飾る、「サポ飯」  
を作って食べる、観戦日記をつける…みんなで応援を楽しむことは、心身  
の健康づくりにもつながります。

コロナ禍であらゆるものが分断される中、誰かを応援することで人との  
つながりが生まれ、心身ともに元気になることを目指して…。いくつになっ  
てもワクワクドキドキする、そんな当たり前の願いを形にする活動です。



## 社会の「健康」への貢献



### 健康経営取り組み支援サービス「SUNTORY+」

～企業の「健康経営」をサポートするヘルスケアサービス～



導入から  
ご利用まで  
**0円**

楽しく従業員の健康行動が継続する  
**健康経営サービス**

従業員アプリ

×

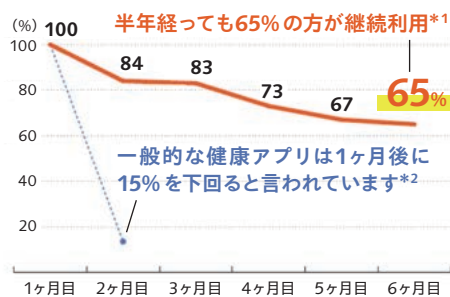
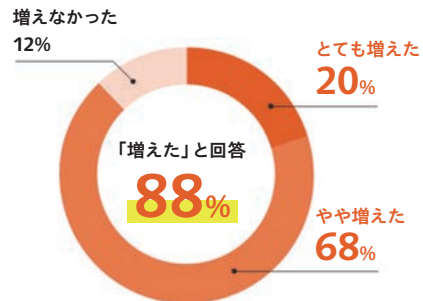
健康飲料

×

人事管理画面



#### Q. 健康により行動をすることが増えましたか？



#### 従業員の88%が行動変容を実感

サントリープラス利用者アンケート調査(当社にて実施)  
調査対象者: サントリープラス導入A企業従業員様  
調査対象人数: 222人  
調査対象期間: 2021年8月～2021年11月

#### 導入半年後も継続率をキープ

\*1 サントリープラスアプリ利用者より抜粋(当社にて実施)調査対象人数: 390人 調査対象期間: 2021年9月1日～2021年2月28日 継続の定義: 月1回以上のアプリ起動  
\*2 Adjust Global App Trends 2019レポートより(調査対象期間: 2018年1月1日～2018年12月31日 Adjust株式会社による調査)

300社以上で導入いただき、サントリー習慣化メソッドが健康行動の継続を支援しています。  
※2022年8月時点

### 「GREEN DA-KA-RA」熱中症対策啓発活動

～学校・企業でのセミナーを通じた啓発活動を展開～

サントリー食品インターナショナルでは、小中学校や企業を対象にした熱中症対策の啓発活動の一環として、「GREEN DA-KA-RA」を通じた様々な取り組みを展開しています。



#### 小中学校での啓発活動

- 熱中症予防啓発ポスターや啓発リーフレットを全国の小中学校(約20,000校)へ無償提供。
- サントリーグループの東日本大震災復興支援「サントリー東北サンさんプロジェクト」の一環として小中学校で定期的開催している「チャレンジド・スポーツ(障がい者スポーツ)体験教室」において、水分補給の大切さや熱中症対策の重要性を各学校の先生から伝えていただくとともに、「GREEN DA-KA-RA」のサンプリングも行い、熱中症対策の啓発活動を展開。

#### 企業向け熱中症セミナー

希望する取引企業に対して、オフィスにおける熱中症発生の危険性や予防方法についてのセミナーを2016年から継続して実施し、企業の健康経営をサポートしています。

- 2022年1～7月実績: 100企業213件



企業向け熱中症セミナーの様子

# SUNTORY



<https://www.suntory.co.jp/company/peopleculture/>

## 「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)～ホワイト500～」に認定

サントリーホールディングス株式会社と、サントリー食品インターナショナル株式会社は、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業として、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人(大規模法人部門)～ホワイト500～」に2017年以降6年連続で認定されています。

